

トップアスリートと考えるスポーツ界の話題【夏と冬】

2020年東京オリンピック・パラリンピックを3年後に控え、都民公開講座には、荻原次晴氏、中村真衣氏のお二人のトップアスリートをお迎えし、現在のスポーツ界の話題を語っていただきます。

2017年7月に行われた世界水泳選手権大会では、銀メダル4個、銅メダル3個という結果に終わりました。なぜ日本は金メダルが獲れなかったのか、その理由を中村氏に解説していただきます。

2018年2月には、平昌(ピョンチャン)オリンピックが開催されます。大会での日本選手の活躍について、荻原氏に予測していただきます。また、これまでトップアスリートとして数々の舞台で活躍されてきたお二人に、怪我・病気をしたときの対応、ドーピング検査時の苦労話など、選手時代のエピソードを何うとともに、薬剤師・薬学博士である上村教授のコメントを交えながらトークを展開します。



おぎわら つぎはる
荻原 次晴

スポーツキャスター

双子の兄・健司とともにノルディックスキー複合選手として頭角を現し、世界選手権では団体金メダルを獲得。1998年長野五輪で入賞を果たした。引退後はスポーツキャスターとしてメディアに多数出演。ウィンタースポーツをはじめ、広くスポーツの普及活性に取り組んでいる。アウトドア活動の経験から「次晴登山部」を発足し、日本百名山登頂に挑戦中。



なかむら まい
中村 真衣

シドニー五輪銀メダリスト

1996年アトランタ五輪100m背泳ぎで4位。2000年シドニー五輪で「銀メダル」を獲得。2002年に我が国水泳界初となるプロスイマーに転向。2004年秋新潟中越地震に被災、数々の困難に直面するも不屈の精神力と持ち前の明るさで困難を跳ねのけ2005年2007年世界選手権の日本代表の座を獲得。2007年春に引退後はスイミングアドバイザーとして、幅広い層に水泳を指導。



かみむら なおき
上村 直樹

コーディネーター

東京理科大学薬学部教授/株式会社ファーミック代表取締役。1986年東京理科大学薬学部卒業。在学中に富士見台調剤薬局(株式会社ファーミック)を開業、1998年東京理科大学薬学部非常勤講師を経て2006年教授。薬学博士。2014年より日本薬剤師会 理事。

専門：薬局管理学、医薬品情報学、社会薬学